

神樹の会会報

No. 46

平成 10 年 12 月 17 日

発行所：神樹の会

発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店“いたやど” ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

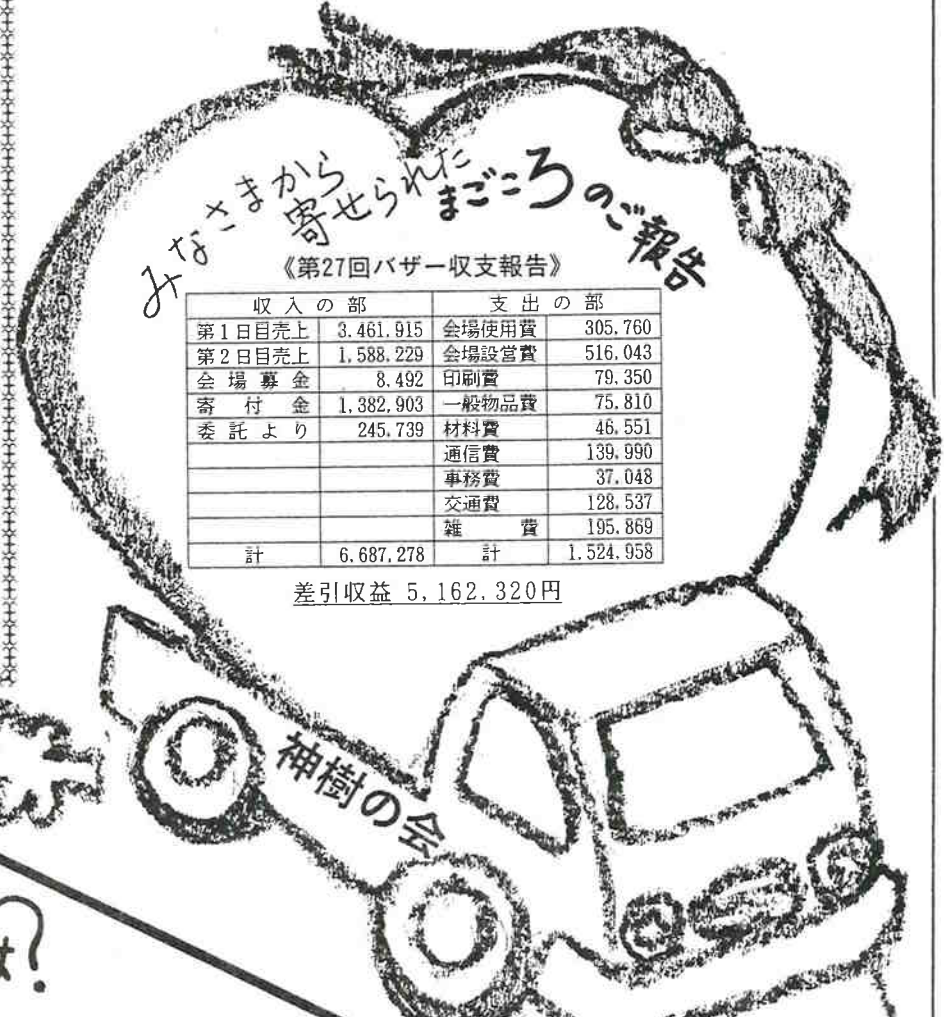
六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

第27回 チャリティバザー

あなたのHeartにひびきたい!

第27回神樹の会バザーが10月29・30日にハーバーランドスペースシアターにて盛大に開催されました。昨年から委託品販売に加え新しくコーヒーコーナーを設けてみました。不況の風をふきとばすかのように、たくさんの方々から温かい愛の心をお寄せいただきました。バザーの収益金は各事業所の活動を支え、また、重度障害者施設建設のために積み立てられます。皆様の心温まるご支援とご協力に、心よりお礼申し上げます。



みんさまから寄せられたまごころのご報告

《第27回バザー収支報告》

収入の部		支出の部	
第1日目売上	3,461,915	会場使用費	305,760
第2日目売上	1,588,229	会場設営費	516,043
会場募金	8,492	印刷費	79,350
寄付金	1,382,903	一般物品費	75,810
委託より	245,739	材料費	48,551
		通信費	139,990
		事務費	37,048
		交通費	128,537
		雑費	195,869
計	6,687,278	計	1,524,958

差引収益 5,162,320円

第27回神樹の会バザーは初期の目標を達成でき終えることができました。この不景気な状況の中にもかかわらず、多くの方々(神戸市PTA協議会、企業、一般市民)の温かいご愛情とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

熱い心が受け継がれて

神樹の会会長 宮脇 テル子
私たちが会員はそれを信じて、いろいろな方々の知恵をいただきながら肢体不自由児者の幸せを願い会員が力を合わせてつぎの事業、つぎのステップへと進めていけることを願っています。

全国社会福祉大会にて 宮脇会長受賞

平成十年度全国社会福祉大会が、十一月二十日東京日比谷公会堂で開催され、宮脇会長が民間社会福祉団体関係功労者として表彰を受けられました。この賞は長年にわたり福祉の向上・発展に多大の貢献をされた個人に対し贈られるものです。会員一同心よりお祝い申し上げます。今後とも私たちと共に障害児者のより良い向上をめざしてのご活躍をお祈り申し上げます。

おめでとうございます

平成十年度神戸市社会福祉大会が九月八日神戸文化ホールにて開催され、神樹の会より推薦された次の方々が奉仕活動・金品の寄付の各部門で神戸市社会福祉協議会理事長感謝状を受けられました。

- ☆奉仕活動の部 村岡多恵
- ☆金品寄付の部 須磨ボランティアグループ 吉岡佑起子 中野祀子
- ☆東郷賢治 北川能章 三浦精三 藤田猛 (敬称略)

反比例する体力のこれからは?



▲毎日楽しく通えて、いろんな所への野外活動もうれしいです。

神樹の会は発足以来バザーをして資金を作り、子ども達親たちの願いを結果として行政に働きかけ、一歩ずつ願いを実らせていきました。そして東部デイサービスは魚崎デイサービスへ、星陵園は重症心身障害児(者)通園事業としてそれぞれ法人傘下の公的施設へ移管されました。また全国に先がけて開かれた六甲作業所と垂水作業所も運営は神樹の会に今まで通りまかされていますが、神樹の会と重心父母の会が母体となつてつくった法人傘下に最近入りました。現在は明芳デイサービスへ

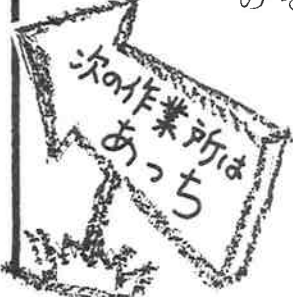


▶全介助の必要な人も、毎日元気に青春しています。

資金づくり、資金づくりのためのバザー。いつも子ども達の明るい未来を願う親たちの心は少しも変わりませんが、体力は衰えていきます。時の流れの中でどう対応していくのか...これからの課題です。

ほとんどの方々が望むデイサービスは国の規定で法人以外は設立できず、小規模作業所として確保していくしかないようです。たおじ・ゆめの作業所も内容的にデイサービスに近い運営がされており、利用者は毎日楽しんでる様です。このような障害者自身がそこでの生活を楽しめ、親も安心して通わせられる場所がまず必要です。そのため

サービス・たおじ作業所・ゆめの作業所の運営に携わっていますが、すべての事業所の設立資金や援助金及び前記法人設立のための資金はバザー収益で賄われてきています。今後の卒業生の進路は、



私たちの女...
たおじ作業所...
ゆめの作業所...
サービス...

心の豊かさを求めて

垂水養護学校家庭教育ゼミナール

今年の家庭教育ゼミナールは、親子のふれあいをより深めて、子ども達が日常生活をより一層楽しく送れるようにと、テーマを「心の豊かさを求めて」と決めた活動をすすめています。内容は「側わんについて」「卒業に向けての作業体験・陶芸」「子どもの食について」「歯の健康」等、子どもがいつも笑顔で元気に学校生活を送れるようにと保護者も前向きに勉強しています。

十一月の秋深みゆく日、淡路島牧場へ施設見学へ行きました。自然の中での思いきりおいしい空気、牛乳をお腹いっぱい。乳絞り、チーズやバター作り体験。そして淡路島の人々の温かい人柄にふれ、心も体もリフレッシュできた一日でした。

子どもが元気に学校へ通っていることが、親はうれしく、また自分自身の心を磨くことにより子どもにも接する時、いつも



つくろう ゆめのかけ橋

友生養護学校文化祭

友生メイツのみんなといっしょうれしくて楽しくて……

去る十一月十四日(土)に文化祭が行われました。今年度は一人一人の心と心を通い合わせようと「つくろう ゆめのかけ橋」をテーマに取り組んできました。

子ども達は一か月程前から劇の練習に励

ふれあひ まなびあひ

笑顔で応えてあげられるよう、親子の心の豊かさをもち続けていたいと願っています。

いろいろな企画、計画、準備にと、毎回委員の方々は忙しですが、参加者の方が喜ばれるようにと心をひとつにし、無事成功のうちに終わった時の喜びはひとしおです。いろいろな出会いは人生での宝物かと思っ

からも垂水養護学校のPTAの輪がますます深まり、大きくくなっていくことを楽しみにしています。



▲手づくりのバターやチーズ おいしい笑顔です

親離れに自信の ついた宿泊訓練

くんれん教室(東)

親離れ、子離れを目標に生活自立を目指して、8月22日・23日に「東部在宅障害者福祉センター」に於いて宿泊訓練をしました。

「福祉センターは、地域と密着して行かなければ…」と言われる所長のご尽力と、友生養護学校の先生・頌栄人間福祉専門学校の学生のみなさんの指導のもと、のびのび楽しくキャンプが出来ました。

2回目の今回は、自分達でメニューを考えプログラムを作成して実施、「来年はビデオを撮って両親に見せてあげたい」等の声を聞くにつけ、年に2回でも3回でも実施することができたらなーなどと思っています。

娘が教えてくれる

岩本 幸子

四月に娘が垂水養護学校の一年生になって、早や二学期も終わろうとしていきます。入学以前の六年間は母子通園で私とべったりだった娘が初めて通学バスで帰って来た日の感動は忘れられることができません。運動会、学校祭と感動することはばかりです。

反面、中学部、高等部の体の大きな生徒達を見ると、当然のことながら娘の数年後を思い、ぼんやりと考えることが多

くなりました。娘が養護学校に入学して少し時間のゆとりができ、余計にいろいろと先の事を考え不安にかられるのです。そんな時、「あー愛情のない人間になれたら何も考えなくて楽なんだろうなあ」と思ってしまう。愛情がある分、心配で辛いのです。時々そんなことを考えることもあれば、逆にこの気持ちをバネにして「この子のためにがんばらなくちゃ!」と奮い立ったりを繰り返して七年が過ぎ、そしてこれからもそうなのだと思います。

心の中で葛藤を繰り返しながらも、娘を愛情をもって育てていける人間に育ててくれた両親と、毎日仕事に励んでいる主人、そして健康でいてくれる主人の両親に心から感謝しています。素直にこんな気持ちになれるのも娘が無言のまま教えてくれるからです。

(垂水養護学校小学部一年母親)

感謝

平成10年7月から11月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。

- ・安田 登
- ・前川 やすえ
- ・亀井 純一
- ・牧野 一夫
- ・荻野 仁志

新年会

日時：平成11年1月24日(日) 午後1時30分～4時30分頃
場所：第一楼 (市役所第2庁舎西側)
☎331-0031

第6回 ゆうすい希望展

日時：12月22日(火)～27日(日) 午前11時～午後6時 (最終日は午後5時まで)
場所：ギャラリー ミウラ ☎391-2665

ヤング フェスティバル

日時：平成11年2月28日(日) 午後1時～3時45分
場 所：しあわせの村 研修館大ホール
参加費：500円

厳しい寒さの続く中、今年も残すところあとわずかとなりました。会報四十六号をお届けいたします。また、ご執筆下さった方々に心よりお礼申し上げます。どうぞよいお年をお迎え下さい。

(肝冨、松本、石倉、渡部、日高、西村、松岡、黒田、小野、宮脇)

あき



訃報

平成十年七月から十一月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

- 中田 美智子様 (昭和57年度卒)
- 新宮 謙一様 (昭和57年度垂水養護学校卒)
- 藤田 和宏様 (昭和61年度垂水養護学校卒)
- 下村 茂美様 (友生養護学校教職員)
- 村田 麻住見様 (垂水養護学校みどり学級 高等部二年)
- 中田真由美さんの母親

